

デマンド型乗合タクシーの 改善方策について

平成31年1月18日
地域公共交通会議



デマンド型乗合タクシー改善方策 検討の基本方向

(1) 市の基本的な考え方

- ①既存の公共交通（鉄道、路線バス、タクシー）の活用を前提とする
- ②市民アンケート・小学校区意見交換会で得た市民の意見を尊重する
- ③サービス水準を向上させ、市民にとって利用しやすいものとする

(2) 意見交換会・アンケートの主な意見

○意見交換会

- ①予約方法の改善
- ②乗降場所の追加、市外利用
- ③予約不成立の解消、車両増
- ④運行時間の拡大

○アンケート

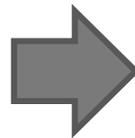
- ①デマンド型乗合タクシーの税投入が多すぎると過半数が回答
- ②税投入の抑制意見が多い
- ③公共交通への転換年齢は75歳～84歳が最も多い

上記を踏まえて、改善方策（案）を検討

デマンド型乗合タクシーの改善

(1) デマンド型乗合タクシーの主要課題と対応策

- ① 予約方法の改善
- ② 乗降場所の追加
- ③ 市外利用
- ④ 予約不成立の解消
- ⑤ 運行時間の拡大
- ⑥ 市の財政負担が多い



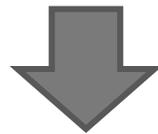
- ① 周知徹底はできるが、改善は難しい
- ② 過去の検討経過から実施は難しい
- ③ 実施をすることで、**利便性は上がる**
が利用者数は減少する可能性あり
- ④ システム変更、車両の追加、⑤ 運行時間の拡大には、**更なる財政負担が必要**
- ⑥ 固定経費が多く、利用者の増加が必要



現状のデマンド型乗合タクシーの改善では、
多くの課題に対応することは難しい

普通タクシー車両の活用により 多くの課題を解決できると判断

- ①予約方法の改善 ⇒ ○ 予約時間の制約を撤廃できる
- ②乗降場所の追加 ⇒ ○ どこでも乗降可能（乗降のどちらか自宅）
- ③市外利用 ⇒ △ 既存の公共交通ネットワークを活用
- ④予約不成立の解消 ⇒ ○ 専用車両からの変更により解消の見込み
- ⑤運行時間の拡大 ⇒ ○ 17時までから18時までに拡大
- ⑥市の財政負担が多い ⇒ ○ 利用者が2倍でも財政負担は減少の見込み



市としては
普通タクシー（一般乗用事業）へ転換したい

今後のスケジュール（予定）

年 月	内 容
2019年2月18日	◆平成30年度第3回地域公共交通会議での改善方策決定を受け ○デマンド型乗合タクシーの廃止協議
2019年2月～3月	◆市議会 ○2019年度予算案への反映
2019年5月以降	◆平成31年度第1回地域公共交通会議 ○普通タクシー事業参画事業者の募集選定・契約対応の報告 ○市民への周知・広報計画の報告 ⇒参画事業者の募集選定・契約協議の実施 ⇒ホームページでの広報の実施
2019年8月から	◆愛知運輸支局への手続き ○デマンド型乗合タクシーの廃止申請手続き ◆市民への広報 ○広報紙を用いた市民への周知
2019年10月から	◆「普通タクシー事業（一般乗用事業）」への転換